

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道497号 西九州自動車道 佐世保道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	【事業全体】費用便益比(B/C) = 2.1 (経済的純現在価値(B-C) = 2,087億円、経済的内部収益率(EIRR) = 9.3%) 【残事業】費用便益比(B/C) = 1.8 (経済的純現在価値(B-C) = 236億円、経済的内部収益率(EIRR) = 9.1%)
	事業実施環境	■ ルート確定済	(都市計画決定(4工区)、都市計画決定変更(2~3工区)) : H9年4月
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	(周辺の自治体などから積極的な整備促進がなされている、環境影響評価の時期(4工区) : H9年4月)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	平行区間の年間渋滞損失時間(人・時間/年)及び削減量 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間: 192.1万人・時間/年(国道35号) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率: 約6割削減(国道35号)(現況192.1万人・時間/年→整備後76.4万人・時間/年)
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	現道となる一般国道35号佐世保市藤原町で平日混雑時旅行速度が11.0km/h(H17センサ)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道となる一般国道35号は、佐世保市大塔方面や佐々町方面へ連絡するバス路線となっており走行性向上が期待される
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	特急停車駅である佐世保駅へのアクセス向上が期待される(佐世保駅、佐世保市大塔町~佐世保駅、18分→16分)
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	佐世保道路整備は、佐世保駅周辺再開発事業を構成する7大事業に位置付けられている
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	幹線都市計画道路網密度の変化 (0.03km/km2⇒0.04km/km2)
		<input checked="" type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	都市計画道路網密度の変化 (0.30km/km2⇒0.32km/km2)
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される (観光施設：西海パールシーリゾート、所要時間：佐世保市大塔町～西海パールシーリゾート 55分→33分、年間観光客入り込み数：約121万人)	
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三次救急医療施設である大村市の「国立病院機構長崎医療センター」へのアクセス時間短縮が見込まれる(国立病院機構長崎医療センター、佐世保市立総合病院～国立病院機構長崎センター 95分→73分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：558t/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 (推計結果) 評価対象区間（現道／平行区間等）：（一般国道35号） 排出削減量：4.3t/年、排出削減率：13%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 (推計結果) 評価対象区間（現道／平行区間等）：（一般国道35号） 排出削減量：0.4t/年、排出削減率：13%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		■ その他、環境や景観上の効果が期待される	佐世保道路整備にあたっては、景観検討委員会を設立し、佐世保IC周辺の特徴的な自然・都市景観との調和や保全を図る道路景観整備を行う
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道497号	佐世保道路	8.3 km	高規格 B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
24,100	4	九州地方整備局

① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	1,467億円	75億円	1,541億円
うち残事業分	374億円	30億円	404億円
基準年における 現在価値 (C)	1,787億円	48億円	1,836億円
うち残事業分	292億円	13億円	305億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成18年度			
供用年	平成10年度			
単年便益 (初年便益)	96億円	6億円	2億円	104億円
基準年における 現在価値 (B)	3,603億円	229億円	91億円	3,923億円
うち残事業分	487億円	32億円	22億円	541億円

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	2.1
費用便益比 (残事業)	1.8

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：佐世保道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [佐世保道路] : 8.3km	交通量	[台/日]	0	21,200	
	走行時間	[分]	0	6	
	走行時間費用	[億円/年]	0	33	
②主な周辺道路	現道(国道 35号) : 8.0km	交通量	[台/日]	58,900	47,700
		走行時間	[分]	22	17
		走行時間費用	[億円/年]	338	212
	市)大塔 側道1・ 2号線 : 0.7km	交通量	[台/日]	25,100	9,000
		走行時間	[分]	3	2
		走行時間費用	[億円/年]	22	4
	市)尼潟 循環線・ 支線 : 0.9km	交通量	[台/日]	11,100	900
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	6	0
	主)佐世 保日野松 浦線 : 2.3km	交通量	[台/日]	28,600	26,200
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	30	27
③その他道路合計 : 4255.1km	走行時間費用	[億円/年]	7400	7351	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4275.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7797	7627	170

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

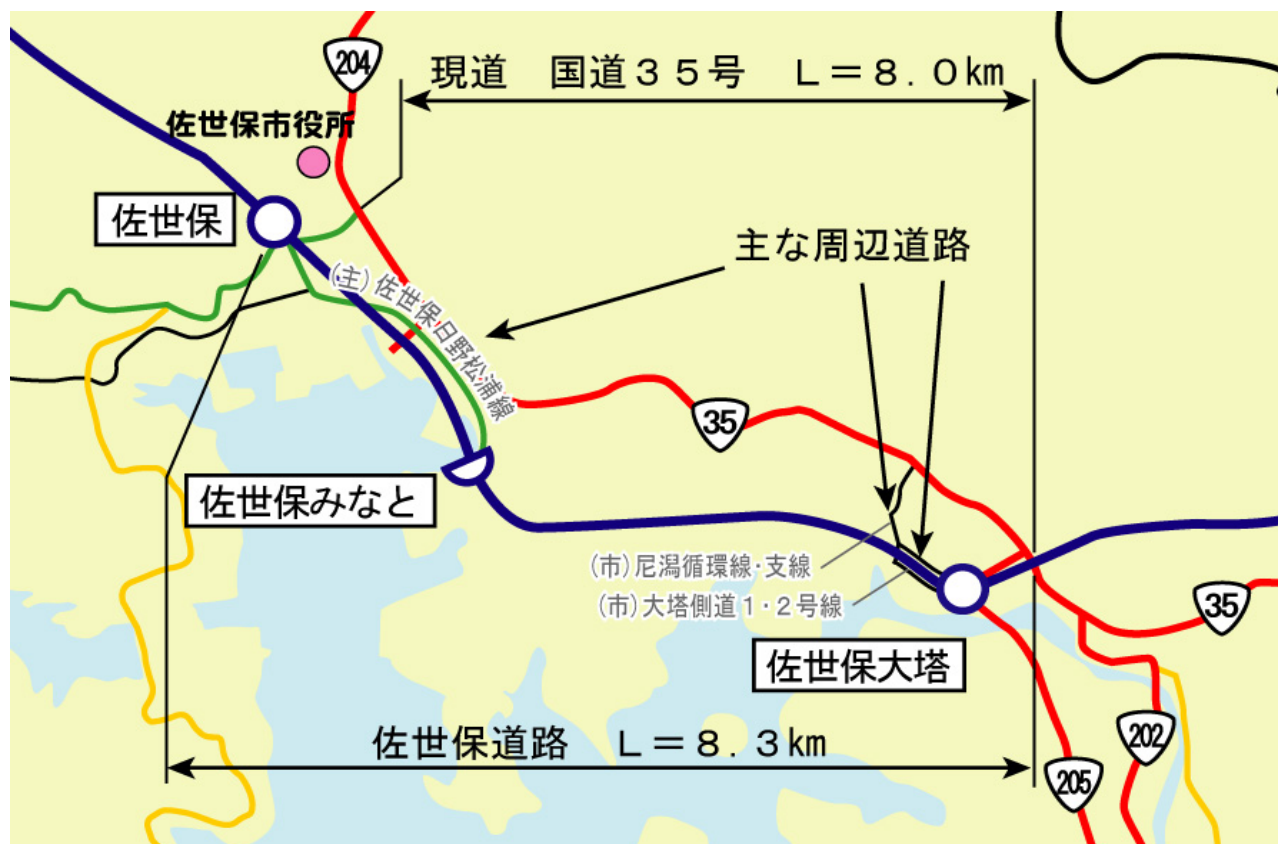
※1： 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：佐世保道路（事業全体）



交通状況の変化

事業名：佐世保道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [佐世保道路] : 8.3km	交通量	[台/日]	22,100	21,200	
	走行時間	[分]	5	6	
	走行時間費用	[億円/年]	25	33	
②主な周辺道路	現道(国道 35号) : 8.0km	交通量	[台/日]	49,800	47,700
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	224	212
	市)大塔 側道1・ 2号線 : 0.7km	交通量	[台/日]	14,000	9,000
		走行時間	[分]	3	2
		走行時間費用	[億円/年]	9	4
	市)尼潟 循環線・ 支線 : 0.9km	交通量	[台/日]	4,100	900
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	2	0
	主)佐世 保日野松 浦線 : 2.3km	交通量	[台/日]	35,500	26,200
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	38	27
③その他道路合計 : 4255.1km	走行時間費用	[億円/年]	7362	7351	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4275.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7660	7627	33

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1： 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：佐世保道路（残事業）



費用便益分析の条件

事業名：一般国道497号佐世保道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成18年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/> ()	
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H11,H42)	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)以下の路線が混在した配分結果となっているため、費用便益分析においては速度差の生じる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 佐世保道路(事業全体)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	8.3	2.241

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-18年目	S 55	2.7725	0	0		
-17年目	S 56	2.6658	2	5		
-16年目	S 57	2.5633	1	4		
-15年目	S 58	2.4647	6	15		
-14年目	S 59	2.3699	5	13		
-13年目	S 60	2.2788	6	13		
-12年目	S 61	2.1911	8	18		
-11年目	S 62	2.1068	17	35		
-10年目	S 63	2.0258	31	63		
-9年目	H 1	1.9479	33	64		
-8年目	H 2	1.8730	24	45		
-7年目	H 3	1.8009	34	62		
-6年目	H 4	1.7317	57	99		
-5年目	H 5	1.6651	44	74		
-4年目	H 6	1.6010	59	94		
-3年目	H 7	1.5395	70	107		
-2年目	H 8	1.4802	68	101		
-1年目	H 9	1.4233	86	122		
供用開始年次	H 10	1.3686	79	108	1	2
1年目	H 11	1.3159	31	41	1	2
2年目	H 12	1.2653	79	100	1	2
3年目	H 13	1.2167	32	39	1	2
4年目	H 14	1.1699	61	71	1	1
5年目	H 15	1.1249	58	65	1	1
6年目	H 16	1.0816	66	72	1	1
7年目	H 17	1.0400	73	76	1	1
8年目	H 18	1.0000	62	62	1	1
9年目	H 19	0.9615	58	55	1	1
10年目	H 20	0.9246	61	56	1	1
11年目	H 21	0.8890	69	61	1	1
12年目	H 22	0.8548	1	1	2	2
13年目	H 23	0.8219			2	2
14年目	H 24	0.7903			2	2
15年目	H 25	0.7599			2	2
16年目	H 26	0.7307			2	2
17年目	H 27	0.7026			2	2
18年目	H 28	0.6756	47	31	2	1
19年目	H 29	0.6496	47	30	2	1
20年目	H 30	0.6246	47	29	2	1
21年目	H 31	0.6006	46	28	2	1
22年目	H 32	0.5775			2	1
23年目	H 33	0.5553			2	1
24年目	H 34	0.5339			2	1
25年目	H 35	0.5134			2	1
26年目	H 36	0.4936			2	1
27年目	H 37	0.4746			2	1
28年目	H 38	0.4564			2	1
29年目	H 39	0.4388			2	1
30年目	H 40	0.4220			2	1
31年目	H 41	0.4057			2	1
32年目	H 42	0.3901			2	1
33年目	H 43	0.3751			2	1
34年目	H 44	0.3607			2	1
35年目	H 45	0.3468			2	1
36年目	H 46	0.3335			2	1
37年目	H 47	0.3207			2	1
38年目	H 48	0.3083			2	1
39年目	H 49	0.2965	-241	-71	2	1
合計			1226	1787	75	48
単純事業費計			1467		75	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:佐世保道路(残事業)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	2.9	0.783

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-30年目	S 55	2.7725				
-29年目	S 56	2.6658				
-28年目	S 57	2.5633				
-27年目	S 58	2.4647				
-26年目	S 59	2.3699				
-25年目	S 60	2.2788				
-24年目	S 61	2.1911				
-23年目	S 62	2.1068				
-22年目	S 63	2.0258				
-21年目	H 1	1.9479				
-20年目	H 2	1.8730				
-19年目	H 3	1.8009				
-18年目	H 4	1.7317				
-17年目	H 5	1.6651				
-16年目	H 6	1.6010				
-15年目	H 7	1.5395				
-14年目	H 8	1.4802				
-13年目	H 9	1.4233				
-12年目	H 10	1.3686				
-11年目	H 11	1.3159				
-10年目	H 12	1.2653				
-9年目	H 13	1.2167				
-8年目	H 14	1.1699				
-7年目	H 15	1.1249				
-6年目	H 16	1.0816				
-5年目	H 17	1.0400				
-4年目	H 18	1.0000				
-3年目	H 19	0.9615	58	55		
-2年目	H 20	0.9246	61	56		
-1年目	H 21	0.8890	69	61		
供用開始年次	H 22	0.8548	1	1	1	1
1年目	H 23	0.8219			1	1
2年目	H 24	0.7903			1	1
3年目	H 25	0.7599			1	1
4年目	H 26	0.7307			1	1
5年目	H 27	0.7026			1	1
6年目	H 28	0.6756	47	31	1	1
7年目	H 29	0.6496	47	30	1	0
8年目	H 30	0.6246	47	29	1	0
9年目	H 31	0.6006	46	28	1	0
10年目	H 32	0.5775			1	0
11年目	H 33	0.5553			1	0
12年目	H 34	0.5339			1	0
13年目	H 35	0.5134			1	0
14年目	H 36	0.4936			1	0
15年目	H 37	0.4746			1	0
16年目	H 38	0.4564			1	0
17年目	H 39	0.4388			1	0
18年目	H 40	0.4220			1	0
19年目	H 41	0.4057			1	0
20年目	H 42	0.3901			1	0
21年目	H 43	0.3751			1	0
22年目	H 44	0.3607			1	0
23年目	H 45	0.3468			1	0
24年目	H 46	0.3335			1	0
25年目	H 47	0.3207			1	0
26年目	H 48	0.3083			1	0
27年目	H 49	0.2965			1	0
28年目	H 50	0.2851			1	0
29年目	H 51	0.2741			1	0
30年目	H 52	0.2636			1	0
31年目	H 53	0.2534			1	0
32年目	H 54	0.2437			1	0
33年目	H 55	0.2343			1	0
34年目	H 56	0.2253			1	0
35年目	H 57	0.2166			1	0
36年目	H 58	0.2083			1	0
37年目	H 59	0.2003			1	0
38年目	H 60	0.1926			1	0
39年目	H 61	0.1852			1	0
合計			374	292	30	13
単純事業費計			374		30	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:佐世保道路(事業全体)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 10	1.01358	0.99820	1.00855	1.3686	51	15	19	11	96	131	3	0	2	1	6	8	2	3	104	142
1年目	H 11	1.01340	0.99819	1.00847	1.3159	52	15	19	11	96	127	3	0	2	1	6	8	2	3	105	138
2年目	H 12	1.01322	0.99819	1.00840	1.2653	52	15	19	11	97	123	3	0	2	1	6	8	2	3	106	133
3年目	H 13	1.01305	0.99819	1.00833	1.2167	53	15	19	11	98	119	3	0	2	1	6	8	2	3	106	129
4年目	H 14	1.01288	0.99818	1.00826	1.1699	54	15	19	11	99	116	3	0	2	1	6	7	2	3	107	126
5年目	H 15	1.01272	0.99818	1.00820	1.1249	54	16	19	11	100	112	3	0	2	1	6	7	2	2	108	122
6年目	H 16	1.01256	0.99818	1.00813	1.0816	55	16	19	11	100	109	3	0	2	1	6	7	2	2	109	118
7年目	H 17	1.01240	0.99817	1.00806	1.0400	56	16	19	11	101	105	3	0	2	1	6	7	2	2	110	114
8年目	H 18	1.01225	0.99817	1.00800	1.0000	56	16	19	11	102	102	3	0	2	1	6	6	2	2	111	111
9年目	H 19	1.01210	0.99817	1.00794	0.9615	57	16	19	11	103	99	3	0	2	1	6	6	2	2	112	107
10年目	H 20	1.01196	0.99816	1.00787	0.9246	58	17	19	10	104	96	3	0	2	1	7	6	2	2	113	104
11年目	H 21	1.01182	0.99816	1.00781	0.8890	58	17	19	10	105	93	3	0	2	1	7	6	2	2	114	101
12年目	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	69	19	30	16	134	114	4	0	3	2	9	8	4	3	146	125
13年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	69	19	30	16	134	111	4	0	3	2	9	7	4	3	147	121
14年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	70	19	30	16	135	107	4	0	3	2	9	7	4	3	148	117
15年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	70	20	30	16	136	103	4	0	3	2	9	7	4	3	148	113
16年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	71	20	30	16	136	100	4	0	3	2	9	7	4	3	149	109
17年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	71	20	30	16	137	96	4	0	3	2	9	6	4	3	150	105
18年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	72	20	30	16	138	93	4	0	3	2	9	6	4	3	150	102
19年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	72	20	29	16	138	90	4	0	3	2	9	6	4	2	151	98
20年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	73	20	29	16	139	87	4	0	3	2	9	6	4	2	152	95
21年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	73	20	29	16	139	84	4	0	3	2	9	5	4	2	152	91
22年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	90	25	36	20	170	98	5	1	3	2	11	6	5	3	186	107
23年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	90	25	36	20	170	95	5	1	3	2	11	6	5	3	186	103
24年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	90	25	35	20	170	91	5	1	3	2	11	6	5	2	186	99
25年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	90	25	35	19	170	87	5	1	3	2	11	5	5	2	185	95
26年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	91	25	35	19	170	84	5	1	3	2	11	5	5	2	185	92
27年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	91	25	35	19	170	81	5	1	3	2	11	5	5	2	185	88
28年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	91	25	35	19	170	78	5	1	3	2	11	5	5	2	185	85
29年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	91	25	35	19	170	75	5	1	3	2	11	5	5	2	185	81
30年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	91	25	35	19	170	72	5	1	3	2	11	4	5	2	185	78
31年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	91	25	34	19	170	69	5	1	3	2	11	4	5	2	185	75
32年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	91	25	34	19	170	66	5	1	3	2	11	4	5	2	185	72
33年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	91	25	34	19	169	63	5	1	3	2	11	4	5	2	184	69
34年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	91	25	34	19	169	61	5	1	3	2	11	4	5	2	184	66
35年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	91	25	34	19	168	58	5	1	3	2	10	4	5	2	183	63
36年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	90	25	34	19	167	56	5	1	3	2	10	3	5	2	182	61
37年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	90	25	33	18	167	53	5	1	3	2	10	3	5	1	182	58
38年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	90	25	33	18	166	51	5	1	3	2	10	3	4	1	181	56
39年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	89	25	33	18	165	49	5	1	3	2	10	3	4	1	180	53
合計						2,994	837	1,147	632	5,610	3,603	163	19	107	67	356	229	146	91	6,111	3,923

便益の現在価値算定表

箇所名: 佐世保道路(残事業)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	10	3	5	3	21	18	1	0	0	0	1	1	1	1	23	19
1年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	11	3	5	3	21	17	1	0	0	0	1	1	1	1	23	19
2年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	11	3	5	3	21	16	1	0	0	0	1	1	1	1	23	18
3年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	11	3	5	3	21	16	1	0	0	0	1	1	1	1	23	18
4年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	11	3	5	3	21	15	1	0	0	0	1	1	1	1	23	17
5年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	11	3	5	3	21	15	1	0	0	0	1	1	1	1	23	16
6年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	11	3	5	3	21	14	1	0	0	0	1	1	1	1	23	16
7年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	11	3	5	3	21	14	1	0	0	0	1	1	1	1	23	15
8年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	11	3	4	3	21	13	1	0	0	0	1	1	1	1	24	15
9年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	11	3	4	3	21	13	1	0	0	0	1	1	1	1	24	14
10年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	17	5	7	4	33	19	1	0	1	0	2	1	2	1	37	21
11年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	17	5	7	4	33	18	1	0	1	0	2	1	2	1	37	20
12年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	17	5	7	4	33	18	1	0	1	0	2	1	2	1	37	20
13年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	17	5	7	4	33	17	1	0	1	0	2	1	2	1	37	19
14年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	18	5	7	4	33	16	1	0	1	0	2	1	2	1	37	18
15年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	18	5	7	4	33	16	1	0	1	0	2	1	2	1	37	17
16年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	18	5	7	4	33	15	1	0	1	0	2	1	2	1	37	17
17年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	18	5	7	4	33	14	1	0	1	0	2	1	2	1	37	16
18年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	18	5	7	4	33	14	1	0	1	0	2	1	2	1	37	15
19年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	18	5	7	4	33	13	1	0	1	0	2	1	2	1	37	15
20年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	18	5	7	4	33	13	1	0	1	0	2	1	2	1	37	14
21年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	18	5	7	4	33	12	1	0	1	0	2	1	1	1	36	14
22年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	18	5	7	4	33	12	1	0	1	0	2	1	1	1	36	13
23年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	18	5	7	4	33	11	1	0	1	0	2	1	1	1	36	13
24年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	17	5	6	4	32	11	1	0	1	0	2	1	1	0	36	12
25年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	17	5	6	4	32	10	1	0	1	0	2	1	1	0	36	12
26年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	17	5	6	4	32	10	1	0	1	0	2	1	1	0	36	11
27年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	17	5	6	4	32	9	1	0	1	0	2	1	1	0	36	11
28年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	17	5	6	4	32	9	1	0	1	0	2	1	1	0	35	10
29年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	17	5	6	3	32	9	1	0	1	0	2	1	1	0	35	10
30年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	17	5	6	3	32	8	1	0	1	0	2	1	1	0	35	9
31年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	17	5	6	3	32	8	1	0	1	0	2	1	1	0	35	9
32年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	17	5	6	3	31	8	1	0	1	0	2	1	1	0	35	9
33年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	17	5	6	3	31	7	1	0	1	0	2	0	1	0	35	8
34年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	17	5	6	3	31	7	1	0	1	0	2	0	1	0	35	8
35年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	17	5	6	3	31	7	1	0	1	0	2	0	1	0	35	7
36年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	17	5	6	3	31	6	1	0	1	0	2	0	1	0	34	7
37年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	17	5	6	3	31	6	1	0	1	0	2	0	1	0	34	7
38年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	17	5	6	3	31	6	1	0	1	0	2	0	1	0	34	7
39年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	17	5	6	3	31	6	1	0	1	0	2	0	1	0	34	6
合計						627	174	240	133	1,173	487	35	4	26	12	77	32	53	22	1,303	541